

2022年3月10日

各 位

株式会社 紀陽銀行

「串本古民家・まちづくりプロジェクト」第3弾となる 「NIPPONIA HOTEL 串本 熊野海道」4棟目オープンについて

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）が支援する「串本古民家・まちづくりプロジェクト」の第3弾として、串本町の歴史的資源である古民家「矢源邸」を宿泊施設にリノベーションした「NIPPONIA HOTEL 串本 熊野海道」4棟目がオープンしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

紀陽銀行は、引き続き観光振興などを通じて、地元地域の活性化に貢献してまいります。

記

1. 「NIPPONIA HOTEL 串本 熊野海道」4棟目について

所 在 地	和歌山県東牟婁郡串本町串本898番地
施 設 内 容	宿泊施設（客室1室・ペット可）、隣接施設（ワーケーションスペース）
開 業 日	2022年3月7日
対 象 物 件	古民家（矢源邸）1棟

※隣接する建屋はワーケーション施設に改装中であり、完成次第利用可能となります。

2. 「矢源邸」について

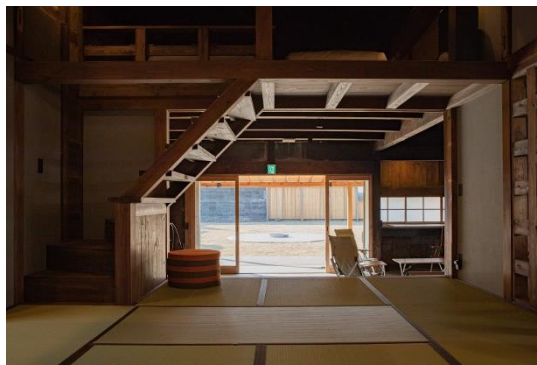
初代矢倉源兵衛が建築し、地域の方々からは「矢」と「源」をとり「矢源邸」と呼ばれています。2代目矢倉源兵衛の五男であり、「串本節」の調査研究・普及啓蒙活動に尽力した矢倉廣治氏が、この場所で新聞販売店を営んでいました。元治元年（1864年）に第14代将軍 徳川家茂が海路で上洛した際に通ったとされる「公方通」に面した、情緒溢れる街並みの中にも存在感のある古民家です。

<「NIPPONIA HOTEL 串本 熊野海道」矢源邸>

【矢源邸外観】



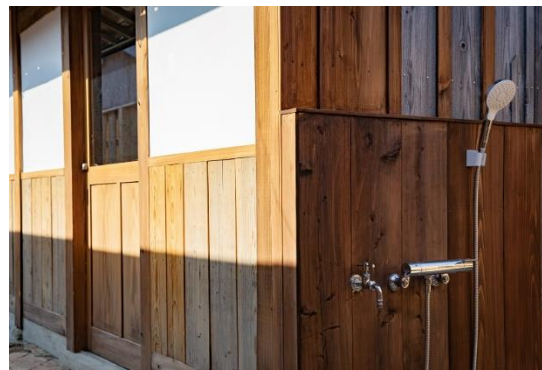
【矢源邸客室】



【矢源邸客室 土間】



【シャワー等のペット用設備】

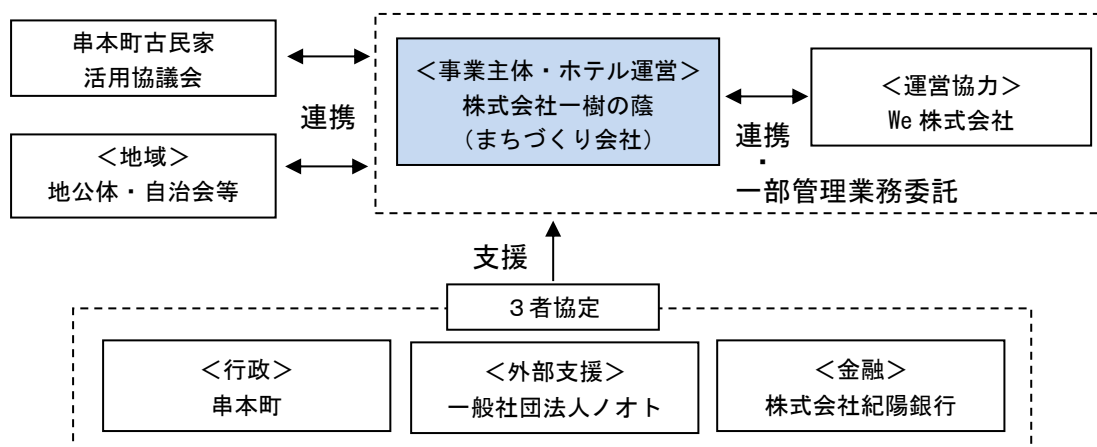


3. ご参考

(1) 「串本古民家・まちづくりプロジェクト」について

本プロジェクトは、「とうそんてい稲村亭」※が位置する串本町の中心部にある古民家などを活用し、宿泊棟・飲食施設などの整備を進める計画です。当行は、2017年9月に串本町および一般社団法人ノオトと締結した「和歌山県串本町の歴史的資源を活用した地域活性化に向けた包括連携協定」に基づき、「串本古民家・まちづくりプロジェクト」の事業主体である「株式会社一樹の蔭」に対して資金面の対応などプロジェクト全体への包括的な支援をおこなっています。

【支援体制】



※「稲村亭」とは

本プロジェクト第1弾としてリノベーションした古民家の1つであり、本プロジェクトの中核施設。明治初期に串本に住んでいた資産家・神田直堯氏が建てた邸宅（棟上げ1874年、築約150年）で、海岸に漂着した1本のスギの大木から奥座敷2間（8畳と10畳）の柱や壁、障子の棧や小型の家具までを造り、直堯氏はこの奥座敷で隠居生活を楽しんだとされる。なお、スギの流木は、その昔大飢饉のとき、米を無償で提供してくれたお礼として地元の漁師が贈ったもの。

(2) 串本町について

本州最南端のまち串本町は、ラムサール条約に登録された海や歴史的資源があるほか、柑橘類や水産物など、地域資源が豊かなまちです。本プロジェクトへの支援により、串本町の豊富な地域資源の有効活用につながるとともに、串本町がめざす「観光振興による地域経済活性化」促進の効果も期待されます。

(3) 「株式会社一樹の蔭」について

株式会社一樹の蔭は串本町の歴史的資源を活用したまちづくりに関して、資金調達やリノベーション、維持、管理および運営をおこなう会社として設立されました。

商 号	株式会社一樹の蔭
設 立	2017年11月22日
所 在 地	和歌山県東牟婁郡串本町串本879番地1
代 表 者	松岡 庸一郎
資 本 金	150万円
事業内容等	串本町の歴史的資源を活用したまちづくりに関して、資金調達やリノベーション、維持、管理および運営を実施

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」につながる取り組みです。

